

令和6年10月18日
設楽町
中部地方整備局
設楽ダム工事事務所

奥三河の自然環境を保全するために何かできるか考えてみませんか？

奥三河自然環境シンポジウム

「自然を守るためにできること ～ネコギギがつなぐ、人と地域～」を開催します。

設楽町および設楽ダム工事事務所は、奥三河の自然環境を保全するために何かできるかを考えることを目的として、「奥三河自然環境シンポジウム 自然を守るためにできること ～ネコギギがつなぐ、人と地域～」を令和6年10月26日に開催します。

- ・国の天然記念物であるネコギギをはじめ、クマタカやホタル、ブナの原生林など、奥三河の豊かな自然の中に様々な動植物が生きています。奥三河の自然環境の変化や現状を学び、自然環境を保全するために何かできるかを考えるきっかけづくりとしてシンポジウムを開催いたします。
- ・シンポジウムでは奥三河の自然環境の保全やその自然環境を活かした地域の魅力向上について、他地域の事例を踏まえて、講演やパネルディスカッションを行います。

1. 開催日時 : 令和6年10月26日(土)13:30～16:00
2. 開催場所 : 設楽町立田口特産物振興センター
(愛知県北設楽郡設楽町田口字向木屋3-1)
3. 講演者等 : 別紙1_チラシ をご覧ください。
4. 配布先 : 中部地方整備局記者クラブ、豊橋市政記者会、新城市政記者クラブ
5. 取材に関して
取材を希望される場合は、別紙2_取材申込書に記載のうえ、10月23日(水)までに下記問い合わせ先(設楽ダム工事事務所)までご連絡をお願いします。
6. 問い合わせ先
設楽ダム工事事務所 副所長 平野 浩二
建設専門官 山田 真理子
TEL:0536-62-1292 FAX:0536-62-1291
メール: cbr-stdmtyo1@mlit.go.jp

設楽町 企画ダム対策課 課長 今泉 伸康
主任主査 林 知宏
TEL:0536-62-0514 FAX:0536-62-1675
メール: kikaku@town.shitara.lg.jp



アカハライモリ



モートンイトトンボ



クマタカ



ネコギギ幼魚

奥三河自然環境シンポジウム

自然を守る ためにできること

ネコギギがつなぐ、人と地域

豊かな自然の中に様々な動植物が生きている奥三河。国の天然記念物であるネコギギをはじめ、クマタカやホタル、ブナの原生林など、多くの動植物が生息しています。人が生活や活動をすることで、自然環境や生き物にも影響を及ぼすようになりました。本シンポジウムで自然環境の変化や現状を学び、奥三河の自然環境を保全するため何ができるか考えてみませんか。

2024
10/26^土
13:30-16:00

入場
無料

定員
100名

オンライン
でも開催

会場

設楽町立
田口特産物振興センター

申込期限

10/18 金

申込方法

WEB 受付

お申込みは
こちら



講演者

- 加藤 博俊 (奥三河ふるさとガイド)
- 地村 佳純 (碧南海浜水族館 館長)
- 愛知県環境局自然環境課
- 愛知県立田口高等学校

パネルディスカッション

【コーディネーター】

- 森 誠一 (岐阜協立大学 教授)

【パネリスト】

- 加藤 博俊 (奥三河ふるさとガイド)
- 後藤 健宏 (いなべ市教育委員会 自然学習室 室長)
- 地村 佳純 (碧南海浜水族館 館長)
- 原田 敏之 (新城設楽生態系ネットワーク協議会 副会長)
- 増田 元保 (碧南海浜水族館 元館長)
- 田中 康寛 (設楽ダム工事事務所 所長)

〈敬称略〉

主催

設楽町、国土交通省 中部地方整備局 設楽ダム工事事務所

後援

愛知県

お問合せ

設楽ダム工事事務所 調査課 ☎0536-62-1292
✉ cbr-stdmtyo1@mlit.go.jp



ブナの原生林

奥三河自然環境シンポジウム
自然を守るためにできること ～ネコギギがつなぐ、人と地域～
取材に関して

取材を希望される報道機関におかれましては、取材申込書に記載のうえ、取材登録受付までお申し込みください。

申し込み期限 : 令和6年10月23日(水)

報道機関名 :

記者または代表者の氏名 :

ご連絡先電話番号 :

取材人数 : 人

【取材登録受付】

設楽ダム工事事務所 調査課

メール : cbr-stdmtyo1@mlit.go.jp

TEL : 0536-62-1292

FAX : 0536-62-1291